

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立恵那南高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年1月25日 (水) 15:20~17:20
- 3 開催場所 かえでホール会議室
- 4 参加者

会 長	桜井 正之	学識経験者		
副会長	鈴木 隆一	NPO法人「いわむら一斎塾」理事長		
委 員	瀬瀬 千尋	明智振興事務所長		
	根崎 育郎	本校同窓会長		
	熊倉あけみ	恵那市恵南商工会女性部部长		
	足立伊公子	一般社団法人えな健幸生活支援隊事務局長		
	大嶋 順子	本校PTA代表		
	安藤 一博	恵那市立明智中学校長 (欠席)		
	石田 宏樹	株式会社ROBOZ代表取締役 (欠席)		
	堀 陽子	農事組合法人おんさい工房 (欠席)		
	オブザーバー			
	水野 正敏	岐阜県議会議員		
	岡田 庄二	恵那市教育委員会 教育長		
	渡辺 康正	明知鉄道 (株) 代表取締役		
	林 尚志	県立高校地域連携コーディネーター		
				(敬称略)
学 校 側	高橋 俊和	校長	深萱しのぶ	生徒指導主事
	柴 成吉	教頭	小島 光示	総合学科主任
	牧野 久智	事務長	上川 智草	記録係
	河村 拓士	教務主任		

5 会議の概要

(1) 本校の今年度の取組について

1. 自己評価・学校関係者評価について
 - ・教務部
 - ・生徒支援部
 - ・進路支援部
 - ・総合学科
2. 本校の現状と今後の展望について

(2) 本校への提言

- 意見1：下田歌子賞、世界ラリー、山城サミット等のボランティアに生徒達が自主的、積極的に協力してくれたことに感謝している。
- 意見2：これから生きていく力を育てていくためには「総合学科」が必要だと感じている。塾の多さを見ると「進学」ありきの考え方が根強いと感じるが、生きていく力がとても大切であり、それを育てる必要がある。なぜ、総合学科ができたのかという視点からも考え、必要性を伝えてほしい。
- 意見3：初めて発表会に参加したが、とても素晴らしい発表だった。生徒が自ら学んでいこうという行動を感じる内容だった。
- 意見4：恵南地区の中学校が統合するという話が出てきているが、明智はこども園から高校（0歳～18歳）まで一か所（同じ地域）で面倒をみることができるから良いと外部から来た方に話を聞いたことがある。それぞれの地域にも良さがあるが、小中高一貫校も視野に入れて恵南地区の学校を考えてほしい。
- 意見5：授業をいつ見に来ても良いといわれているが、きっかけがないと行きにくいので、日にちが指定されていると参加しやすい。
- 意見6：発表会で子どもたちのはつらつとした姿を見ることができて、とても良かった。堂々と発表する姿を見て、自分の高校時代を思い出した。
- 意見7：恵那南高校になり「総合学科」ができた時、どのような学校になってしまうのか不安だったが、頑張っていることがわかり安心した。
- 意見8：サポートをする保護者や教師の意見をきちんと聞くことで、子どもたちも頑張っていけると思う。地域や企業との連携をどんどん進めて行きたい。
- 意見9：自分たちがどんな街に住みたいのかを真剣に考えて活動を続けていく必要がある。部活動等で忙しいため地域のボランティアに来てその場の作業で終わってしまうことが多く、次の地域活動につながっていくことが難しい。今日の発表を聞いて素晴らしい生徒達がいることを感じた。ぜひ、継続した地域活動、地域連携をしたい。
- 意見10：教師から教えられるだけでなく、自分たちで調べて他の人に教えることで深く理解することもある。この学校を長く残していけるように活動を続けていきたい。
- 意見11：どの発表も素晴らしかった。発表を通して幅広い地域とのつながりを感じ、感動した。
- 意見12：発表会を見て、ここ数年の本校の取組は間違っていなかったと感じている。これから、現状よりもっと子どもの数が少なくなっていくことを踏まえ、「自分の生まれ育った所が良い所」だと感じられるように、子どもたちを育てていけると良い。
- 意見13：現在、恵南地区5つの中学校の統合を考えて、各学校を回っている。それぞれの地域でそれぞれ大切なものや考え方がある。少人数制も良いが、柔軟性の高い中学生のうちから多くの人の中で、多くの意見を聞きながら成長させていくのも必要だと考えている。統合にあたり説明会を開いても、きちんと理解されていないと感じる。今回の発表会で「適性検査」を参考にしながら、自分のできる事・やりたい事をふまえて“自分探し”をしているのを感じた。多くの人の中で多くの意見を聞き、多くの地域で生徒を育てていけたらよい。
- 意見14：将来の進路意識を高め、社会人として自立できる人間の育成に力を入れている本校の活動を知ってもらうためには広報をもっと充実させる必要があると感じた。
- 意見15：「明知鉄道応援プロジェクト」では素晴らしいポスターが完成し、感謝している。
- 意見16：子どもたちに将来どうしたいか質問してもなかなか答えが出て来ない。とりあえず、普

通高校に行くという考え方ではなく、しっかりと将来を見つめることができる「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」はとても大切な時間だと感じた。

意見17：ディスカッションの授業も加えると、自分の意見や考えを相手に伝える表現もできるようになると思うので、授業内容にさらに加えてほしい。

意見18：18歳成人なので、責任が伴うのだということも意識させていけるとよい。

意見19：環境資源研究の発表を見て、まだまだ引き込むだけの伝統がこの地域にはあることを感じた。

意見20：地元の子どもは地元で育てたい。中学校に高校の説明をする機会が少なくなってきた中で、中学生の親世代にどのように本校の良さを伝えることができるのか考えていく必要がある。

意見21：説明だけでは残らないので、高校について議題にしてほしいというお願いをしたこともある。町をあげて市をあげて考えていく必要がある。

意見22：瑞浪では新たに青年部を立ち上げる動きがあった。子育て世代が地域を活性化していく必要があり、その子育て世代に情報を発信できるように考えていく必要がある。

6 会議のまとめ

- ・「産社総合学習発表会」について非常に高い評価を得ることができた。
- ・総合学科の魅力や意義について理解を得ることができたが、それが地域に浸透していないとの指摘もあった。今後も地域への情報発信、中でも子育て世代に対する情報発信に努めていきたい。
- ・今年度の教育実践について理解と評価を得ることができた。中でも地域と連携した活動には評価の高さと同時に期待も高く、支援、協力していきたいという意見もあった。今後も地域と連携し、恵那市南部に高等学校が存続していくために、将来を見据えた教育活動を推進していきたい。